

箴言

—人生の教科書—

シリーズ～旧約聖書入門～

2012/10/7

「箴言」とは

- 生きていくために必要な「格言」「金言」集
 - 「イスラエルの王、ダビデの子、ソロモンの箴言。
これは知恵と諭しをわきまえ／分別ある言葉を理解するため
諭しを受け入れて／正義と裁きと公平に目覚めるため。
未熟な者に熟慮を教え／若者に知識と慎重さを与えるため。」
- 著者はソロモン王とその他数人
 - 「どうか、あなたの民を正しく裁き、善と悪を判断することができるように、この僕に聞き分ける心をお与えください。」列王記上3:9
 - 「これらもまた、『賢人』の言葉である」24:23
 - 「『ヤケの子アグル』の言葉」30:1

知恵

- 「知恵」の重要性

- 「知恵は真珠にまさり／どのような財宝も比べることはできない。」8:11

- 「懲らしめ」「諭し」

- 「戒めは灯、教えは光。懲らしめや諭しは命の道。」6:23

- 「英知」「分別」

- 「忍耐によって英知は加わる。短気な者はますます無知になる。」14:29

- 「思慮深さ」「熟慮」

- 「未熟な者は何事も信じこむ。熟慮ある人は行く道を見分けようとする。」14:15

愚かさ

- 「愚かさ」

- 「思慮深い人は知識を隠す。愚かな心はその無知を言いふらす。」12:23
- 「子を奪われた熊に遭う方が／愚か者の無知に会うよりましだ。」17:12

- 「無知」

- 「無知な者は自分の道を正しいと見なす。知恵ある人は勧めに聞き従う。」12:15

- 「怠け(者)」

- 「扉はちょうつがいに乗って回転する。怠け者は寝床の上で寝返りを打つ。」26:14

主なる神

- 主を畏れる

- 「主を畏れることは知恵の初め。」1:7
- 「主を畏れる人はまっすぐ歩む。主を侮る者は道を曲げる。」14:2

- 主を信賴する

- 「心を尽くして主に信賴し、自分の分別には頼らず常に主を覚えてあなたの道を歩け。そうすれば／主はあなたの道筋をまっすぐにしてくださる。」3:5-6

- 主の守り・祝福

- 「主に喜ばれる道を歩む人を／主は敵と和解させてくださる。」16:7

主なる神

- 創造主

- 「金持ちと貧乏な人が出会う。主はそのどちらも造られた。」

- 教育

- 「かわいい息子を懲らしめる父のように／主は愛する者を懲らしめられる。」3:12

- 人間の道と神の道

- 「人間の道は自分の目に正しく見える。主は心の中を測られる。」21:2

- 「人間の心は自分の道を計画する。主が一步一步を備えてくださる。」16:9

人

• 友

- 「鉄は鉄をもって研磨する。人はその友によって研磨される。」27:17
- 「友の振りをする友もあり／兄弟よりも愛し、親密になる人もある。」18:24

• 妻

- 「いさかい好きな妻と一緒に家にいるよりは／屋根の片隅に座っている方がよい。」19:13, 21:9 ,25:24

• 子

- 「鞭を控えるものは自分の子を憎む者。子を愛する人は熱心に諭しを与える。」13:24

愛といさかい

- 愛

- 「憎しみはいさかいを引き起こす。愛はすべての罪を覆う。」10:12
- 「あらわな戒めは、隠された愛にまさる。」27:5

- いさかい

- 「いさかいの始めは水の漏り始め。裁判沙汰にならぬうちにやめておくがよい。」17:14
- 「怒りやすい人はいさかいを引き起こし／激しやすい人は多く罪を犯す。」29:22

生と死と富

- 生(命)

- 「何を守るよりも、自分の心を守れ。そこに命の源がある。」
- 「命は慈善の道にある。この道を踏む人に死はない。」12:28

- 死

- 「怒りの日には、富は頼りにならない。慈善は死から救う。」
- 「人間の前途がまっすぐなようでも／果ては死への道となることがある。」14:12

- 富

- 「富に依存する者は倒れる。神に従う人は木の葉のように茂る。」11:28
- 「肥えた牛を食べて憎み合うよりは／青菜の食事で愛し合う方がよい。」15:17

ことば・心

• ことば(舌・口)

- 「軽率なひと言が剣のように刺すこともある。知恵ある人の舌は癒す。」12:18
- 「癒しをもたらす舌は命の木。よこしまな舌は氣力を砕く。」
- 「自分の口と舌を守る人は／苦難から自分の魂を守る。」

• 心

- 「待ち続けるだけでは心が病む。かなえられた望みは命の木。」13:12
- 「笑っていても心の痛むことがあり／喜びが悲しみに終ることもある。」14:13
- 「貧しい人の一生は災いが多いが／心が朗らかなら、常に宴会にひとしい。」15:15